

高森町議会・ 議員に対する意識調査結果

高森町議会 議会改革推進特別委員会

2024.12

1. はじめに

高森町議会の町議会議員選挙

- ・ 令和7年7月に実施予定、前回の選挙は無投票

無投票・定員割れの現状

- ・ 全国的に増加傾向であり、令和9年に全体の3分の1の自治体で無投票の可能性

影響と解決策

- ・ 地域の声が行政に届きにくくなり、議員のなり手不足が深刻化する恐れ
- ・ さまざまな人材が議員に立候補することが求められる

2. 調査の背景と目的

議会改革推進特別委員会の取り組み

「テーマ：議員のなり手不足」

若い世代へのアプローチ

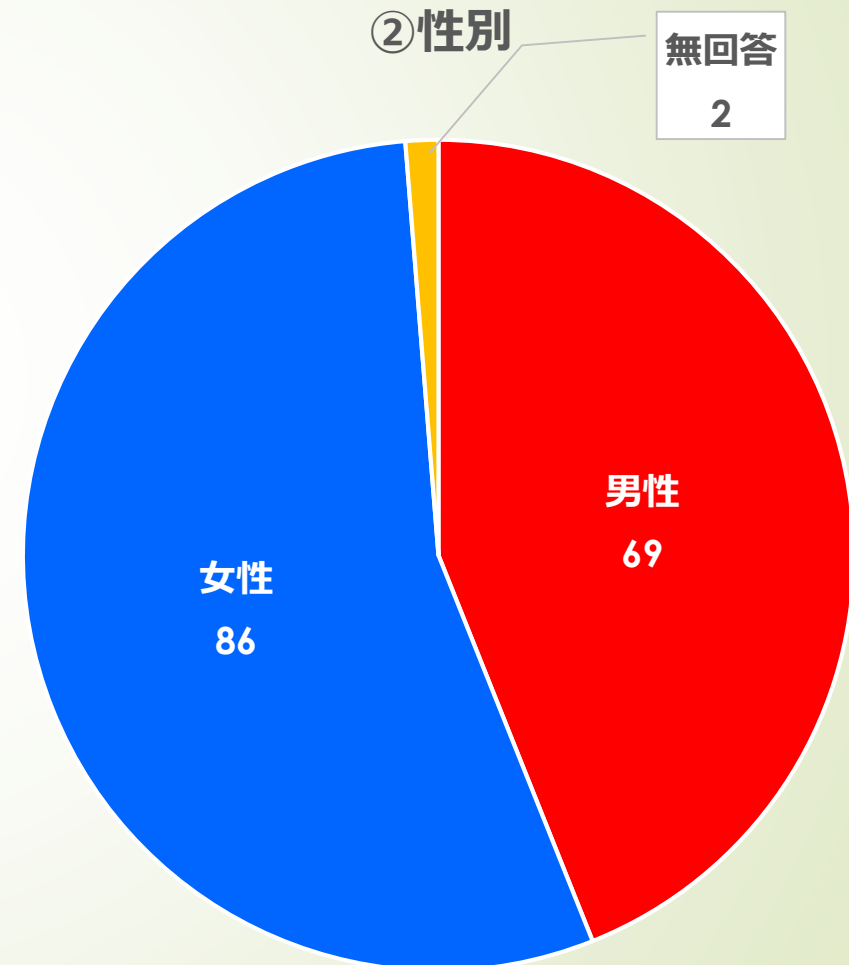
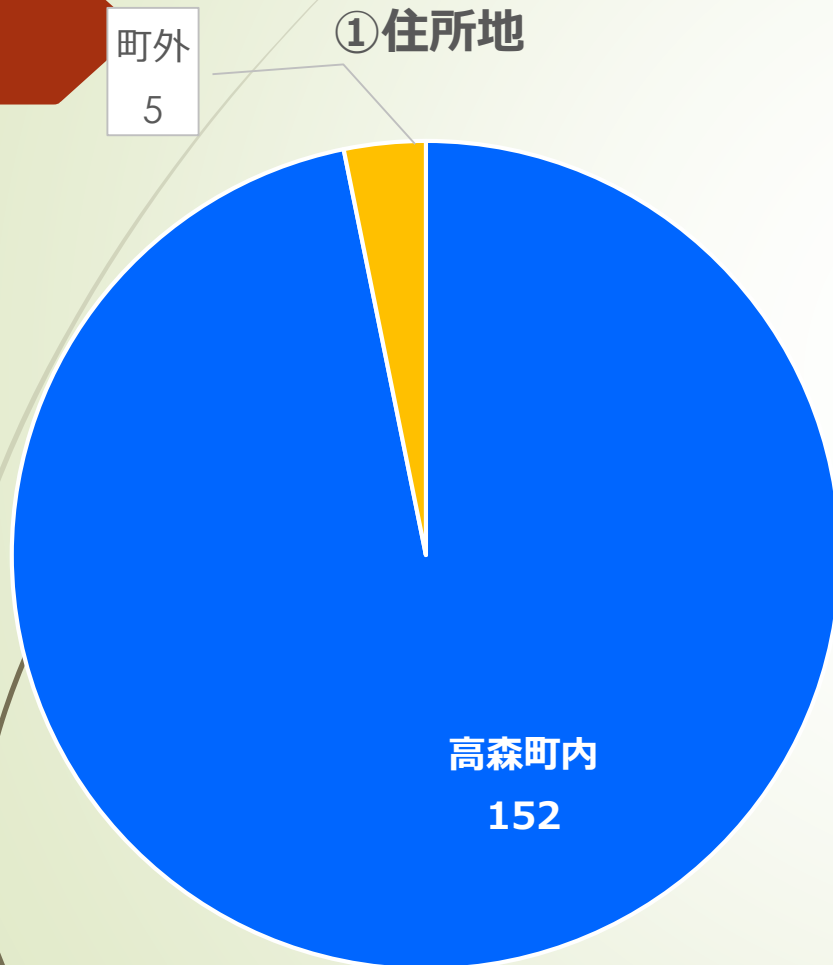
- ・令和6年に行われた「しごと未来フェア」で、議会の役割や議員の仕事について説明

調査の目的

- ・町民がもたれている議会・議員へのイメージの把握と、議員になった場合に求める取り組みの確認

I. 回答される方ご自身についてお尋ねします。

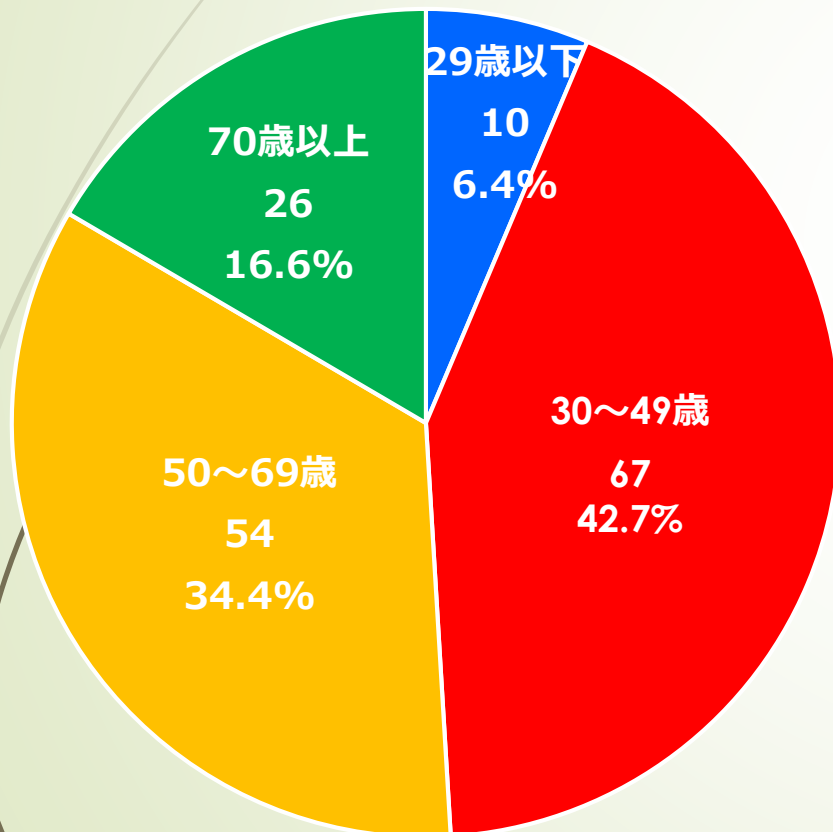
3/25



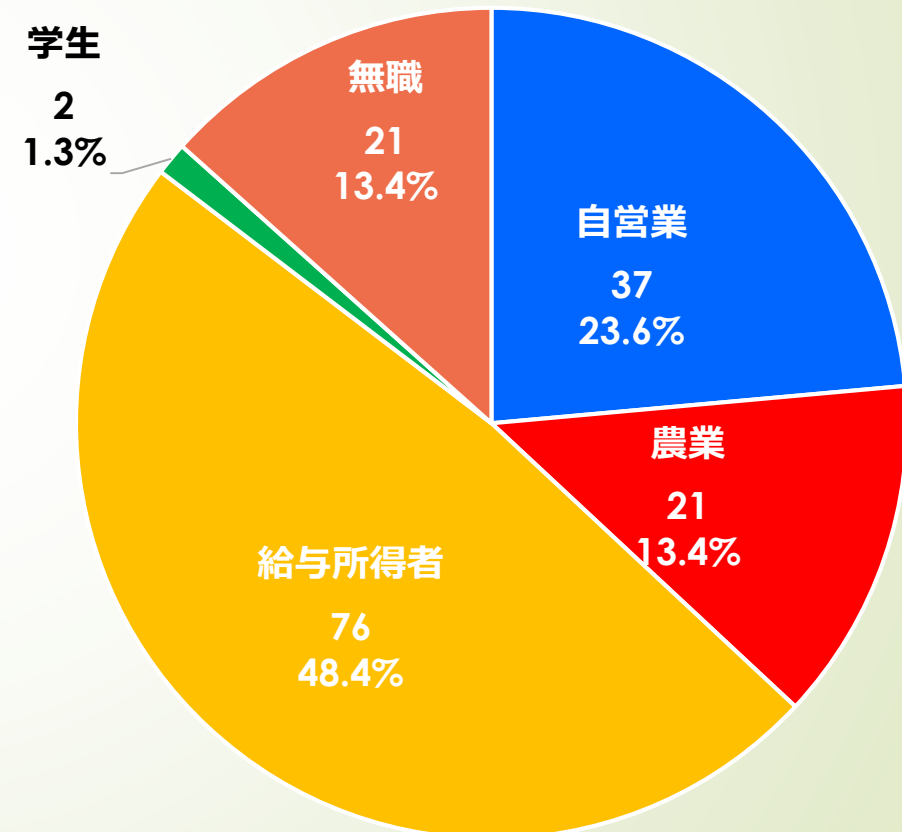
I. 回答される方ご自身についてお尋ねします。

4/25

③年代



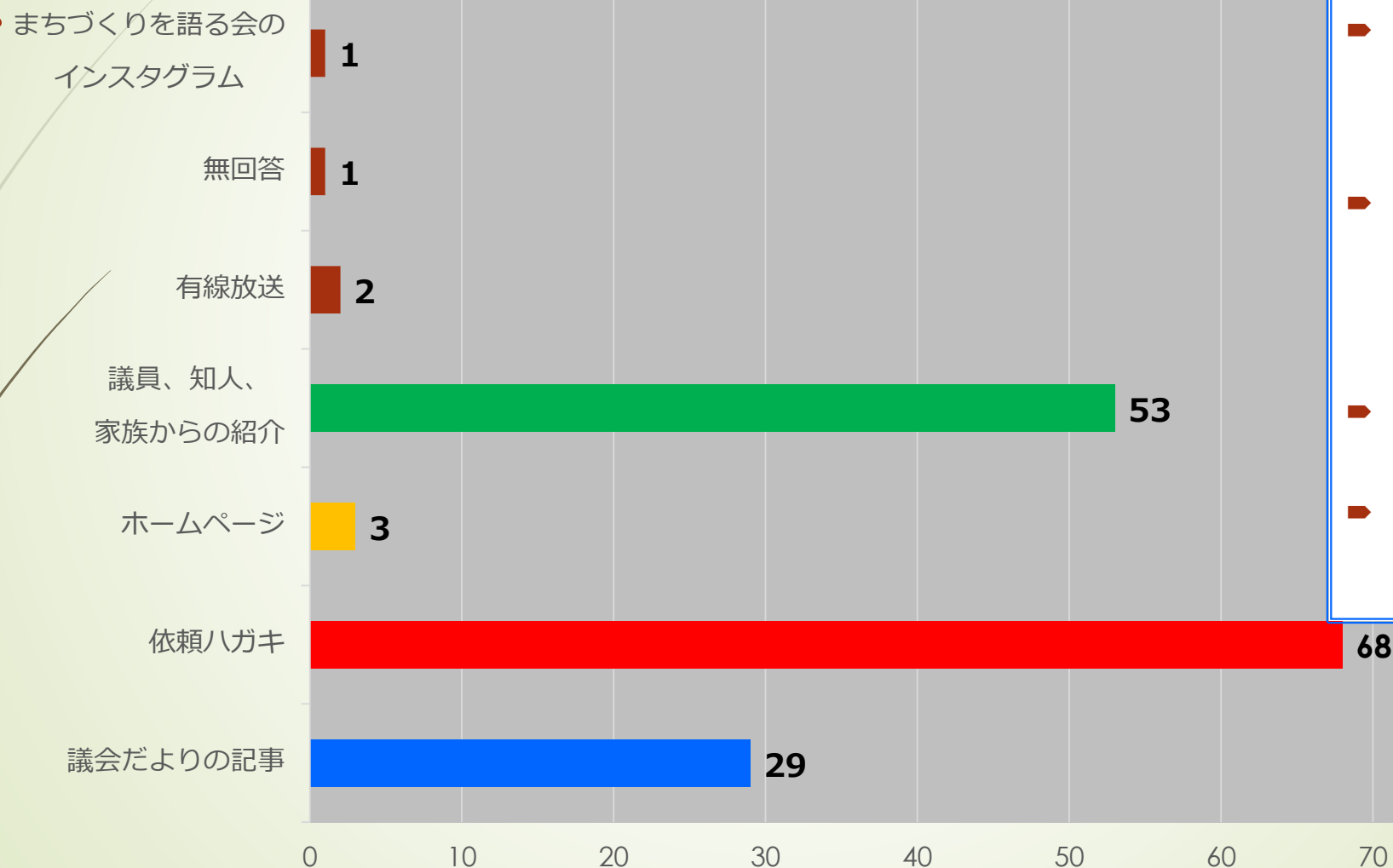
④職業



Ⅱ. 町議会・議員についてお尋ねします。

問1 このアンケートはどこから知りましたか。

5/25



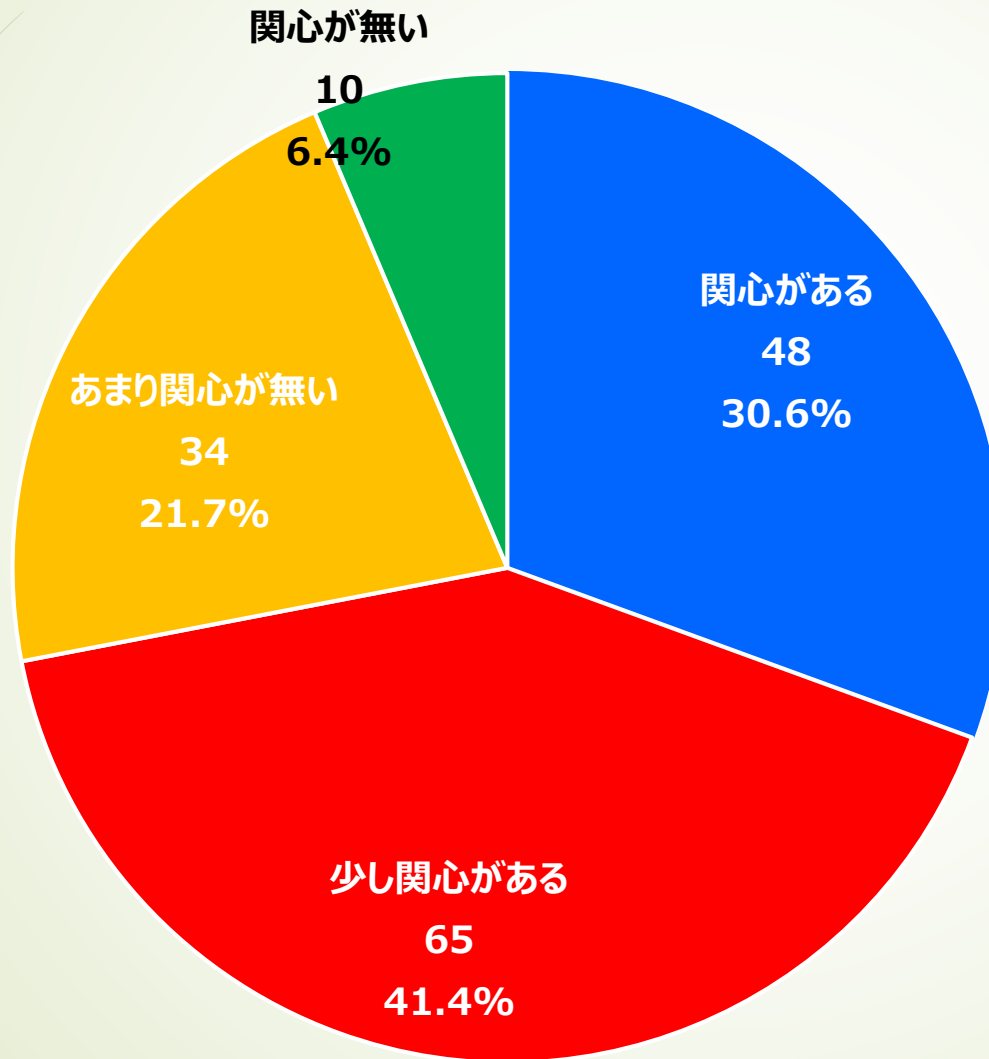
集計表からわかること

- 依頼ハガキは送付400通に対し回答率 17%ではあるが、回答総数にのうち4割強がハガキからの回答。
- 男性は議会だよりの記事からの回答割合が高いのに対し、女性は議員知人、家族からの紹介による回答割合が4割強を占める。
- 高齢になるほど議会だよりの回答割合が高くなる。
- 年代・性別により伝わりやすい媒体が異なることが伺える。

Ⅱ. 町議会・議員についてお尋ねします。

問2 あなたは町議会・議員に関心がありますか。 (一つだけ選択)

6/25



グラフからわかること

- ▶ 回答していただくだけでも関心があると言える
- ▶ 全体では、7割が「少し」以上関心があると回答

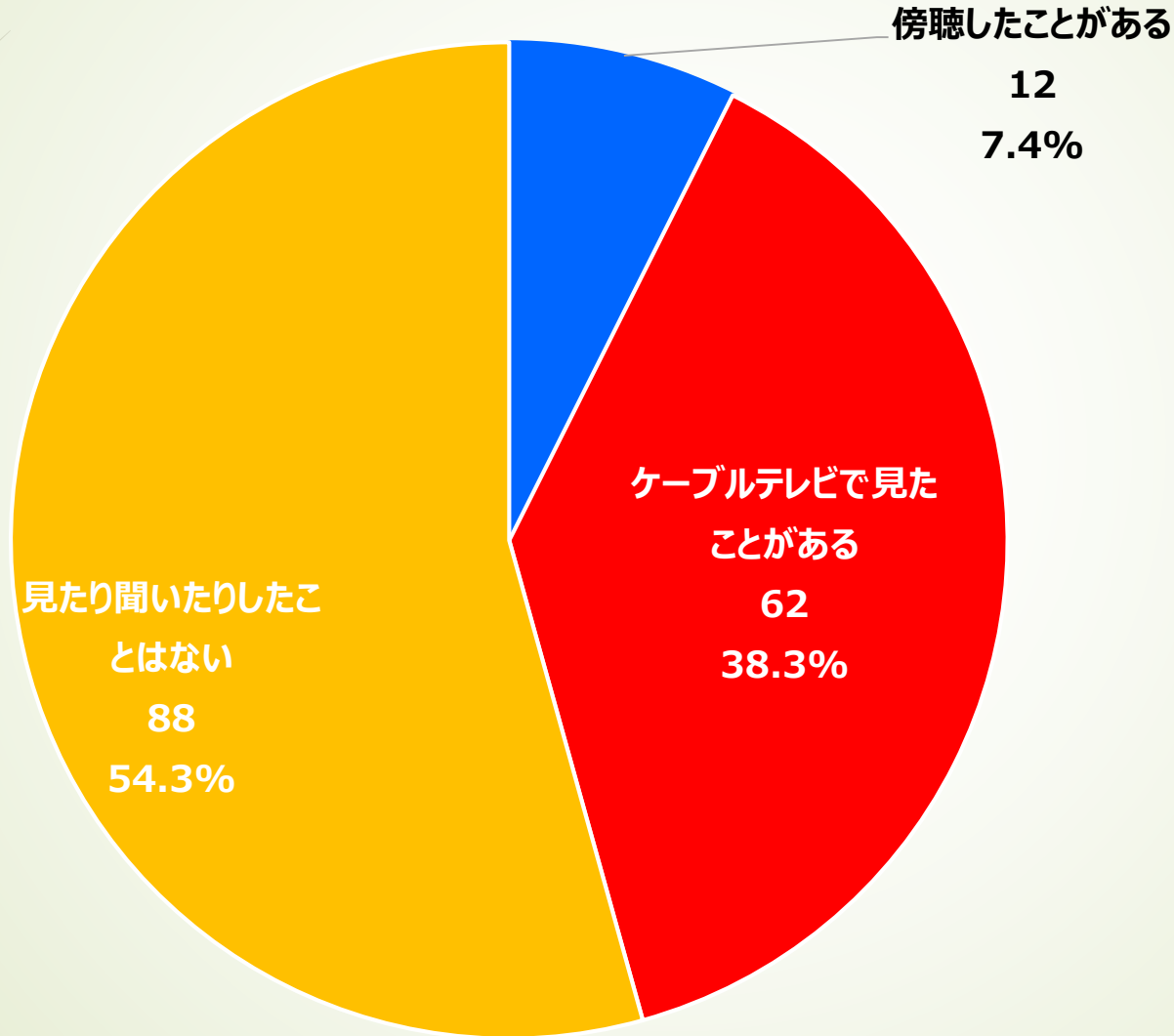
集計表からわかること

- ▶ 年代別で30歳未満では、「少し」以上関心を持つとの回答は5割にとどまり、50歳以上は8割が回答している。
- ▶ 給与所得者は、「あまり関心がない」と答える割合がやや高い。

Ⅱ. 町議会・議員についてお尋ねします。

問3 あなたは町議会の会議等を見たり聞いたりしたことはありませんか。(該当するすべてを選択ください)

7/25



グラフからわかること

- 「見たり聞いたりしたことがない」と約6割が回答している。

集計表からわかること

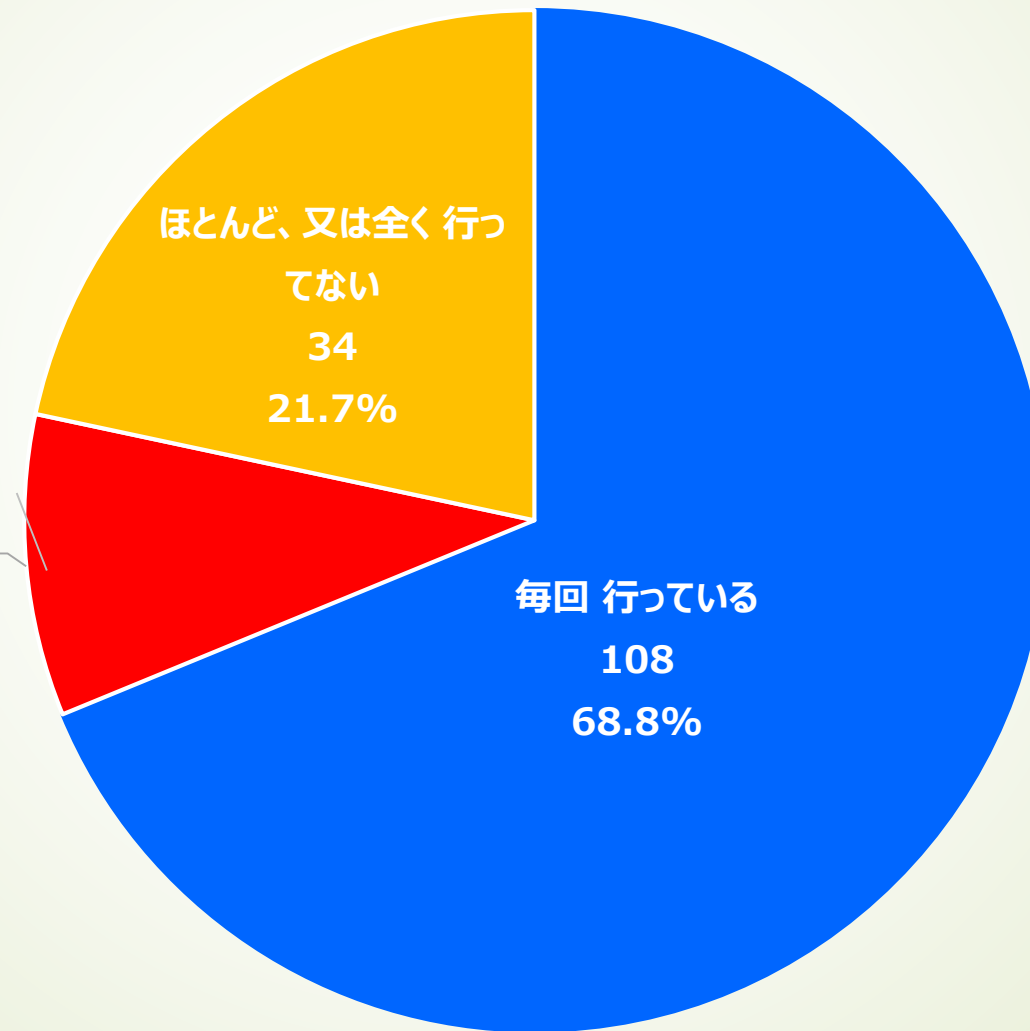
- 年代別では、30～60代の6割が「見たり聞いたりしたことはない」と回答している。これからの議員のなり手と期待したい年代が、議会・議員の活動に直接触れていない。
- 問2で「少し関心がある」と答えた方の6割は「見たり聞いたりしたことがない」と回答。まずこの層に情報発信が必要ではないか。

Ⅱ. 町議会・議員についてお尋ねします。

問4 あなたは町議会議員選挙に行っていますか。 (一つだけ選択)

8/25

選挙権取得後まだ町議会議員選挙が行われていない（無投票含む）
15
9.6%



グラフからわかること

- 町議会議員選挙の投票率に似た割合が伺える。

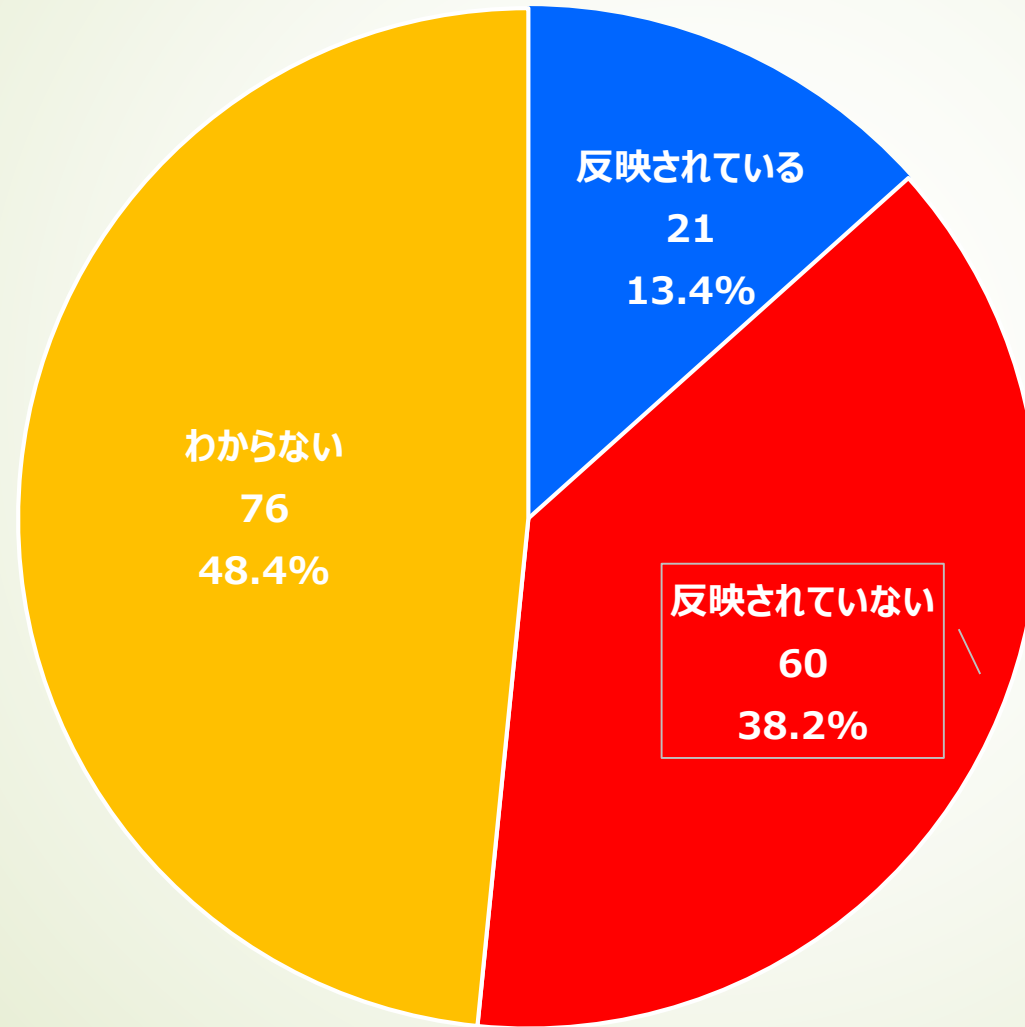
集計表からわかること

- 50代以上では8割が「毎回行っている」と答えたのに対し、50歳未満では6割を切っている。
- 50歳未満は回答者のおよそ半分を占めるが、その3割が「ほとんど又は全く行っていない」と回答
- 問2「少し関心がある」と答えた方の3割が「ほとんど、又は全く行っていない」と回答しており、これらへの働きかけが必要ではないか
- 自営業の約3割が「ほとんど行っていない」と回答している。

Ⅱ. 町議会・議員についてお尋ねします。

問5 あなたの意見や町民の声が町議会に反映されていると思いますか。

9/25



グラフからわかること

- ▶ 町民の声を町政へ反映する取り組みや町民寄せられた声にの声を聴く機会の充実が必要。
- ▶ 反応はすることが必要

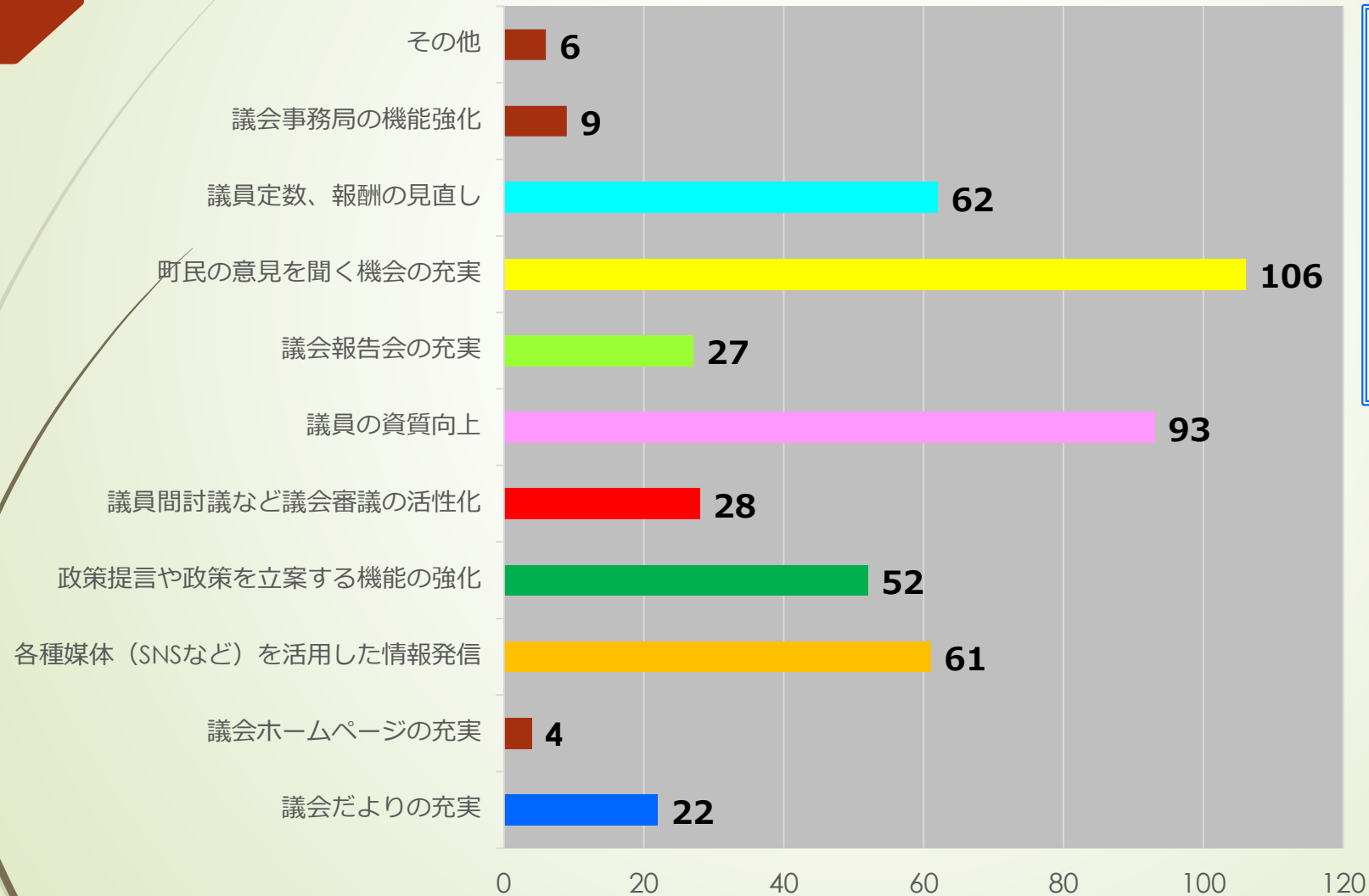
集計表からわかること

- ▶ 性別・年代に依らず約半数が、また職業別では給与所得者の6割以上が「わからない」と回答
- ▶ 問2に「あまり関心が無い」と答えた方の7割が「わからない」と回答。「少し関心がある」と答えた方は「わからない」は5割に。
- ▶ 問3に「見たり聞いたりしたことはない」と答えた方の約6割が本問に「わからない」と回答している。問3で他の回答をした方は、本問に「わからない」と答えるのは3.5割にとどまる。

Ⅱ. 町議会・議員についてお尋ねします。

問6 あなたは、議会改革を更に進めるために町議会が取り組むべき課題は何だと思いますか。（上位3つを選択）

10/25



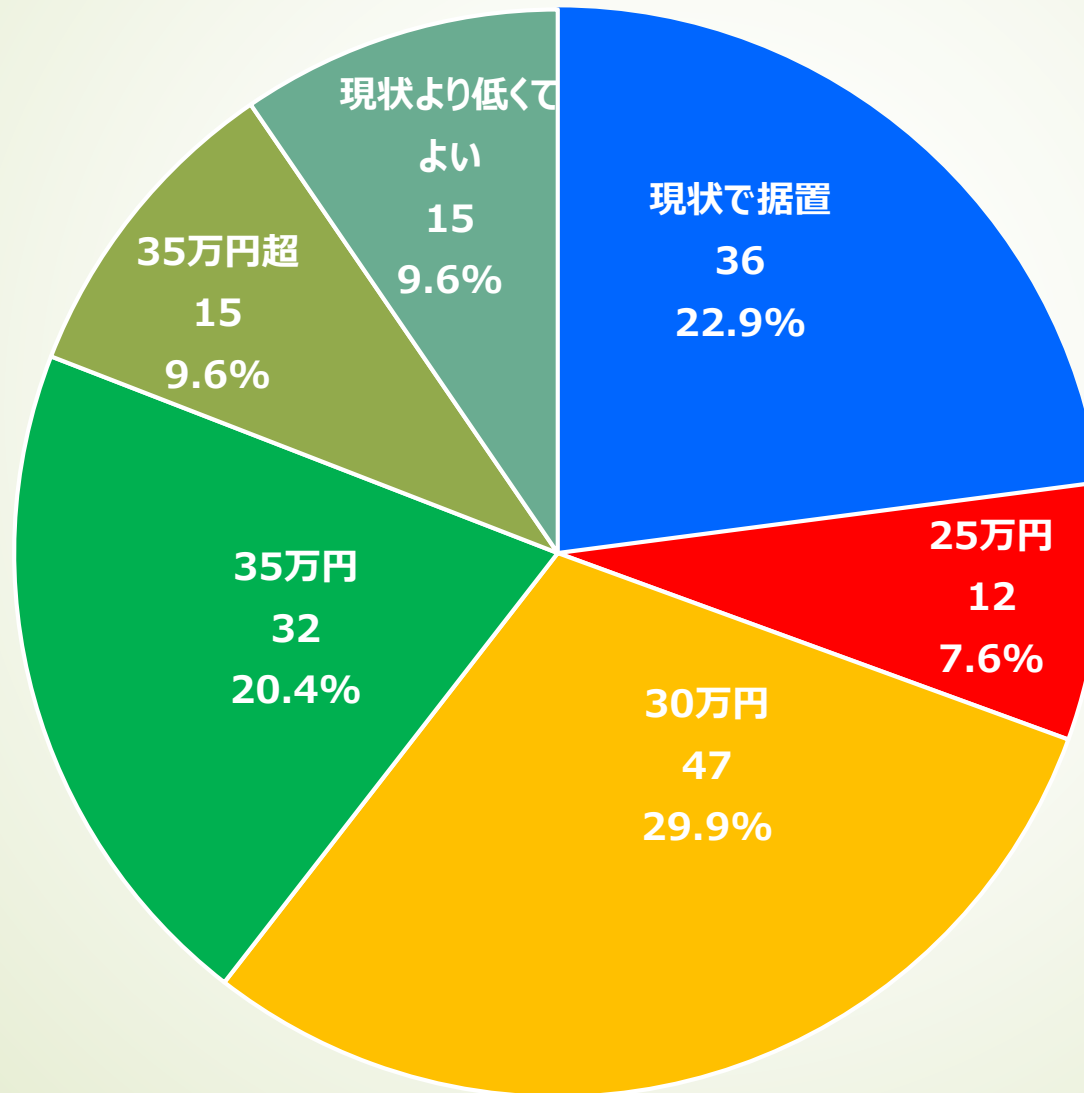
グラフからわかること

- ➡ ①「町民の意見を聞く機会の充実」
- ②「議員の資質の向上」
- ③「議員定数、報酬の見直し」
- ④「各種媒体(SNS など)を活用した情報発信」の4つが取り組むべき課題としてあげられた。

Ⅱ. 町議会・議員についてお尋ねします。

問7 高森町議会議員の報酬月額額は201,500円です。 あなたが議員になるとしたら、報酬はどれくらい必要ですか。

11/25



グラフからわかること

- 回答者の約6割が、議員になるとしたら30万以上の報酬を望んでいることが伺える。

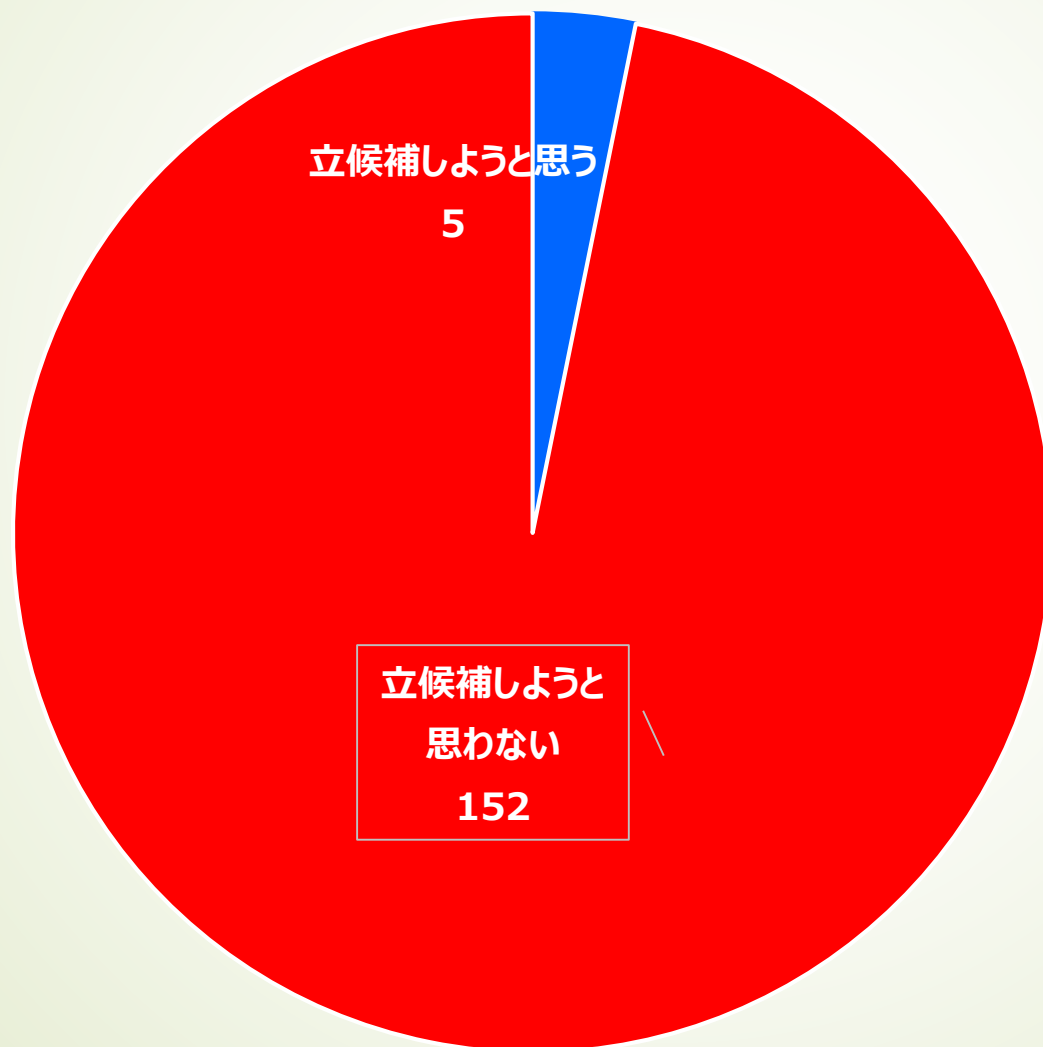
集計表からわかること

- 特に家庭や事業を支える30・40代、職業別では自営業の回答者の7割強が30万円以上と回答している。
- 一方、全体の3割、職業別では農業・無職の方の約5割は「現状以下」と回答。

Ⅱ. 町議会・議員についてお尋ねします。

問8 あなたは、次回の町議会議員選挙に立候補したいと思いますか。

12/25



出馬考える5名に期待したい。

5名の内訳は、

【性別】 男性4名 女性1名

【年代別】30~49歳 1名

50~69歳 2名

70歳以上 2名

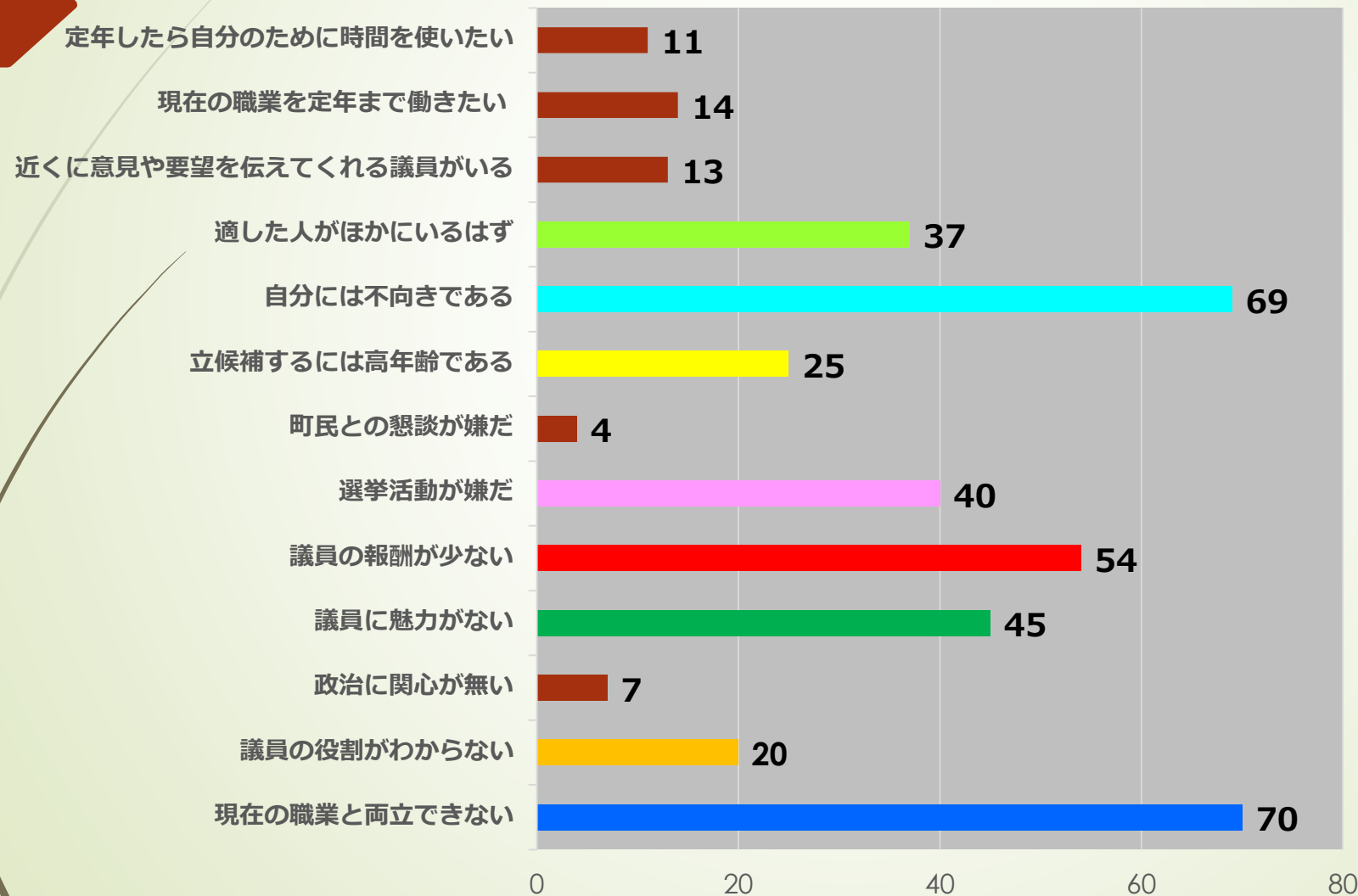
【職業別】 農業 2名

給与所得者 3名

Ⅱ. 町議会・議員についてお尋ねします。

問9 「立候補しようと思わない」理由を教えてください。 (上位3つを選択)

13/25



グラフからわかること

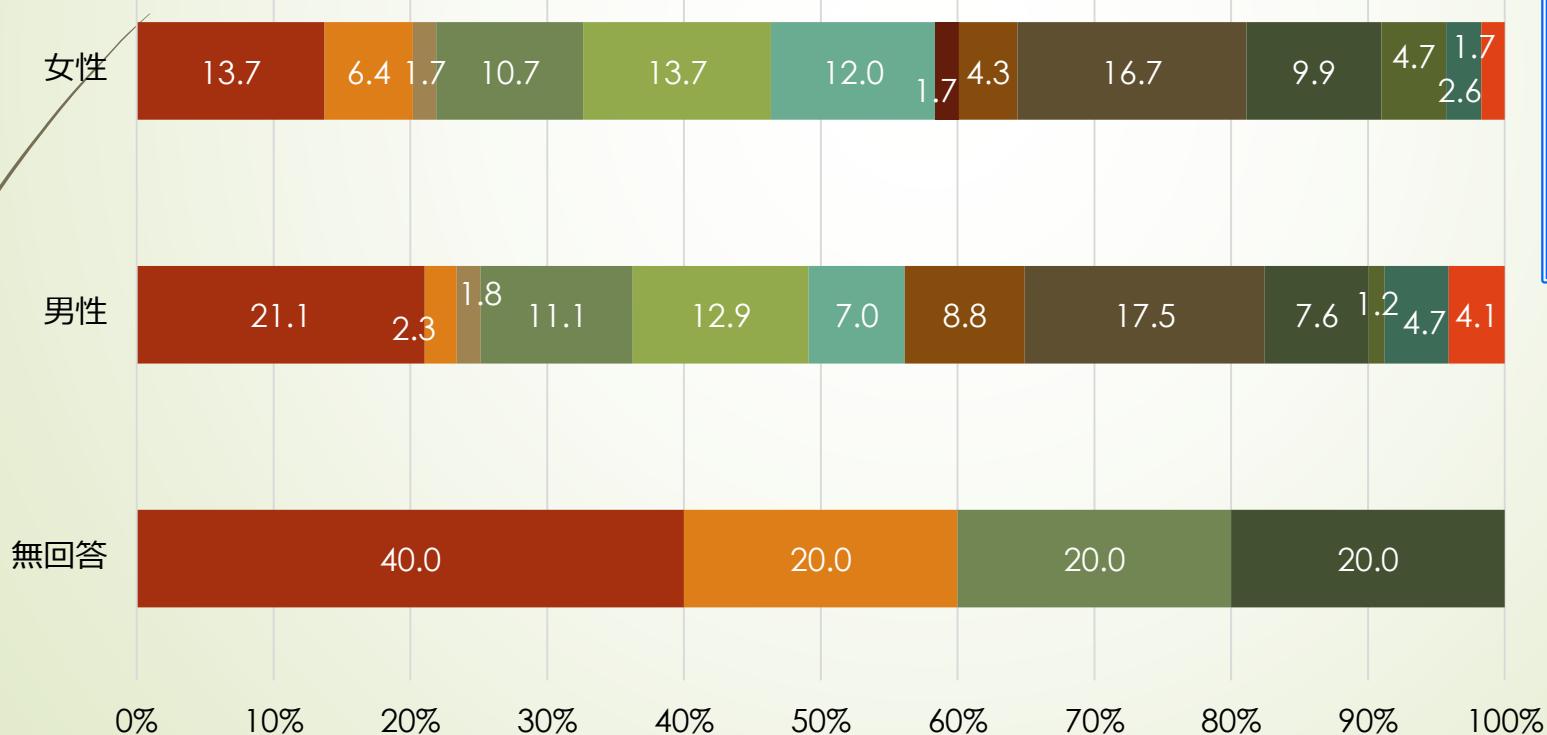
- ➡ 「現在の職業と両立できない」「自分には不向きである」「議員の報酬が少ない」「議員に魅力がない」が主な理由としてあげられた。

Ⅱ. 町議会・議員についてお尋ねします。

クロス集計 性別×「立候補しようと思わない」理由

14/25

- 現在の職業と両立できない
- 議員に魅力がない
- 町民との懇談が嫌だ
- 適した人がほかにいるはず
- 定年したら自分のために時間を使いたい
- 議員の役割がわからない
- 議員の報酬が少ない
- 立候補するには高年齢である
- 近くに意見や要望を伝えてくれる議員がいる
- 政治に関心が無い
- 選挙活動が嫌だ
- 自分には不向きである
- 現在の職業を定年まで働きたい



グラフからわかること

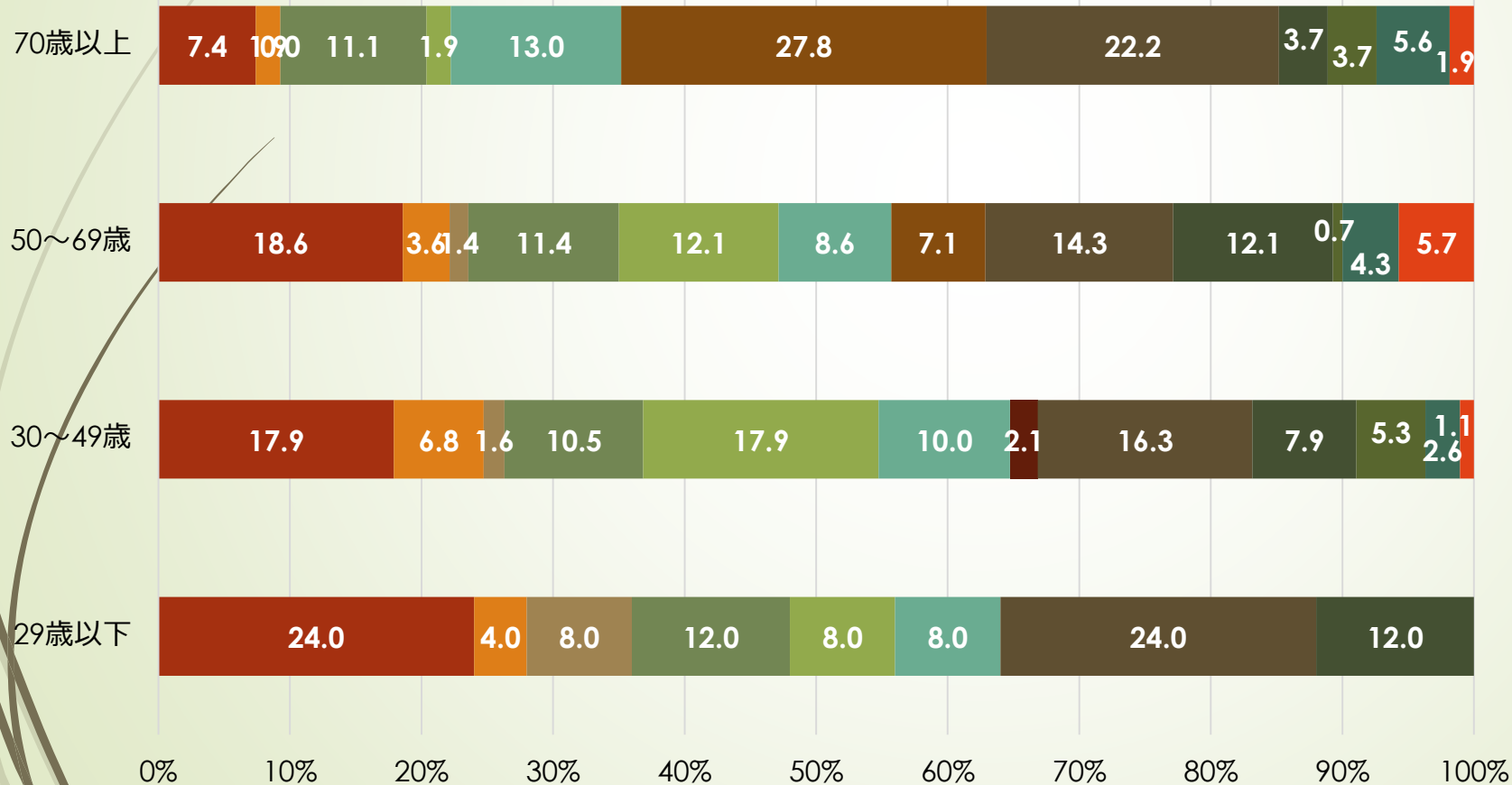
- ▶ 「現在の職業と両立できない」に少し差がみられるが、その他に性別による大きな差はない

Ⅱ. 町議会・議員についてお尋ねします。

クロス集計 年代×「立候補しようと思わない」理由

15/25

- 現在の職業と両立できない
- 議員の役割がわからない
- 政治に関心が無い
- 議員に魅力がない
- 議員の報酬が少ない
- 選挙活動が嫌だ
- 町民との懇談が嫌だ
- 立候補するには高年齢である
- 自分には不向きである
- 適した人がほかにいるはず
- 近くに意見や要望を伝えてくれる議員がいる
- 現在の職業を定年まで働きたい
- 定年したら自分のために時間を使いたい



グラフからわかること

- ➡ どの年代も「自分には不向きである」があげられ、69歳以下の年代では、「現在の職業と両立できない」が主な理由としてあげられた。
- ➡ 30~49歳では「議員の報酬が少ない」、70歳以上では「立候補するには高年齢である」も一つの理由としてあげられた。

集計表からわかること

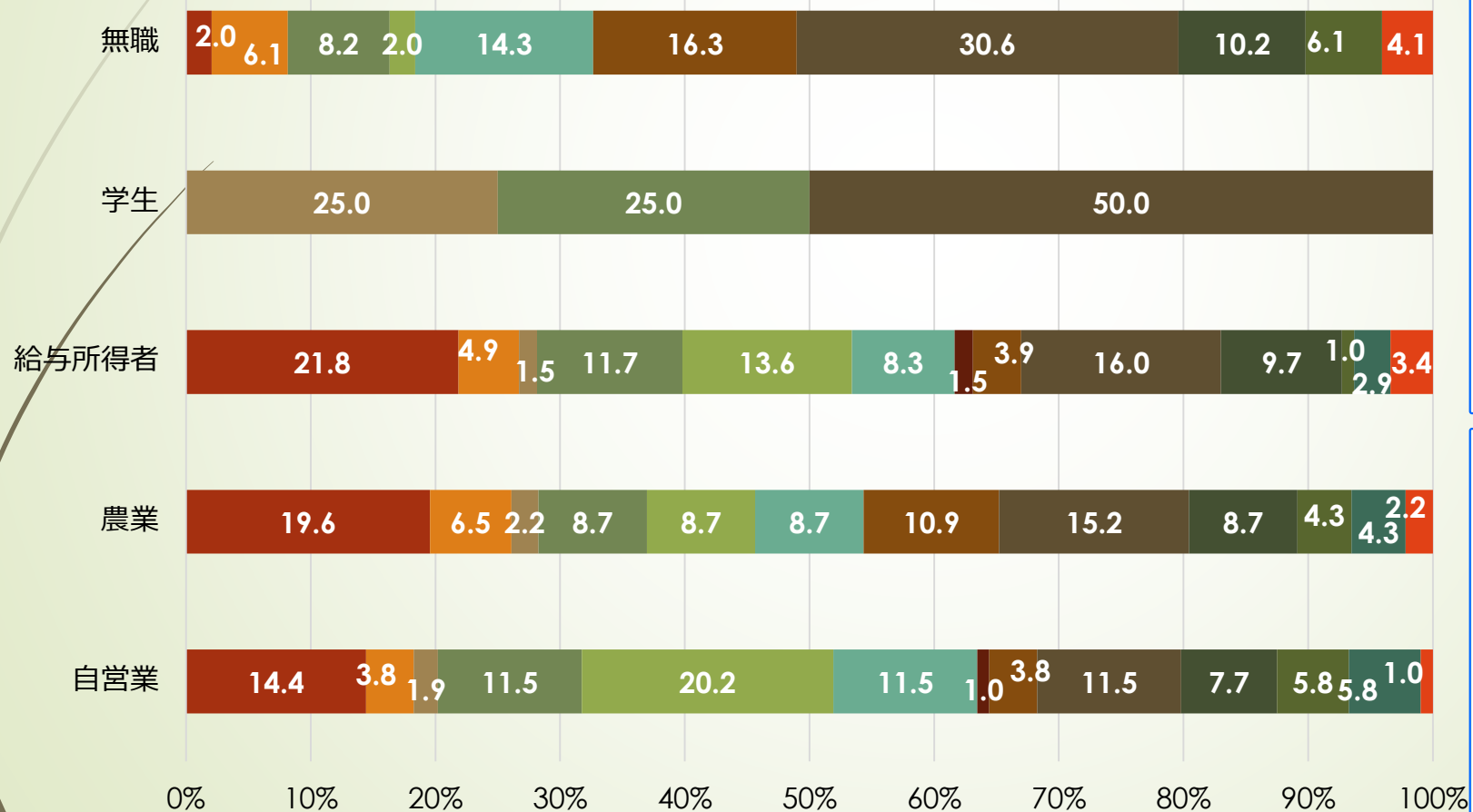
- ➡ 新たななり手候補としては69歳以下が有力だが、生活の維持に関する懸念を挙げられている。

Ⅱ. 町議会・議員についてお尋ねします。

クロス集計 職業×「立候補しようと思わない」理由

16/25

- 現在の職業と両立できない
- 議員の役割がわからない
- 政治に関心が無い
- 議員に魅力がない
- 議員の報酬が少ない
- 選挙活動が嫌だ
- 町民との懇談が嫌だ
- 立候補するには高年齢である
- 自分には不向きである
- 適した人がほかにいるはず
- 近くに意見や要望を伝えてくれる議員がいる
- 現在の職業を定年まで働きたい
- 定年したら自分のために時間を使いたい



グラフからわかること

- どの職業においても「自分には不向きである」があげられ、働いている方では「現在の仕事との両立ができない」が主な理由としてあげられた。
- 給与所得者や自営業の方は「議員の報酬が少ない」も一つの理由としてあげられた。

集計表からわかること

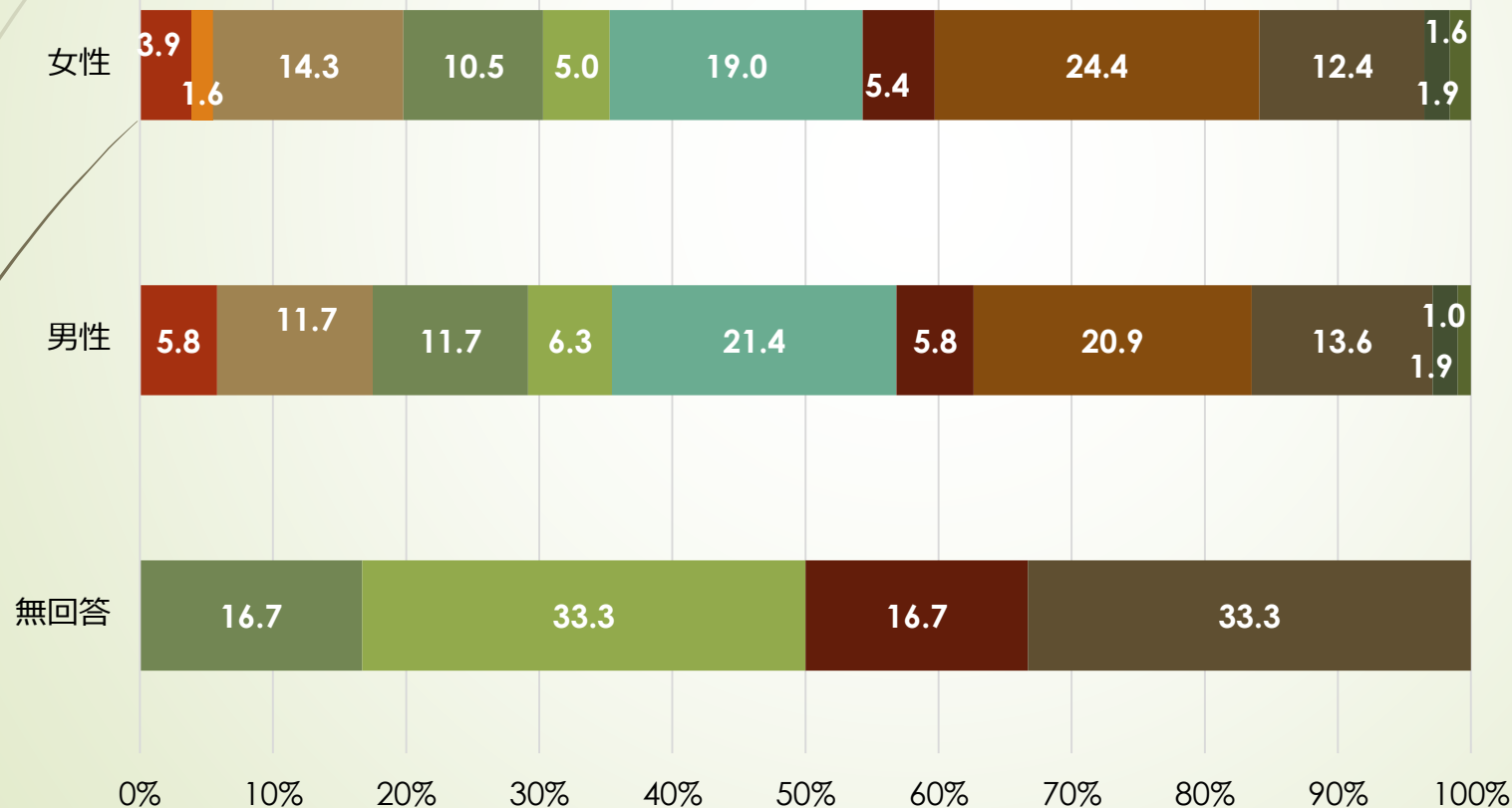
- 回答者の年代は、給与所得者・自営業いずれも30～69歳以下が8割超を占める。
- 新たななり手候補としては69歳以下が有力だが、生活の維持に関する懸念を挙げられている。

Ⅱ. 町議会・議員についてお尋ねします。

クロス集計 性別×「議会改革の課題」

17/25

- 議会だよりの充実
- 議会ホームページの充実
- 各種媒体（SNSなど）を活用した情報発信
- 政策提言や政策を立案する機能の強化
- 議員間討議など議会審議の活性化
- 議員の資質向上
- 議会報告会の充実
- 町民の意見を聞く機会の充実
- 議員定数、報酬の見直し
- 議会事務局の機能強化
- その他



グラフからわかること

- ➡ 男女ともに「町民の意見を聞く機会の充実」「議員の資質の向上」に続いて、「各種媒体を活用した情報発信」「議員間討議など議会審議の活性化」が課題としてあげられた。

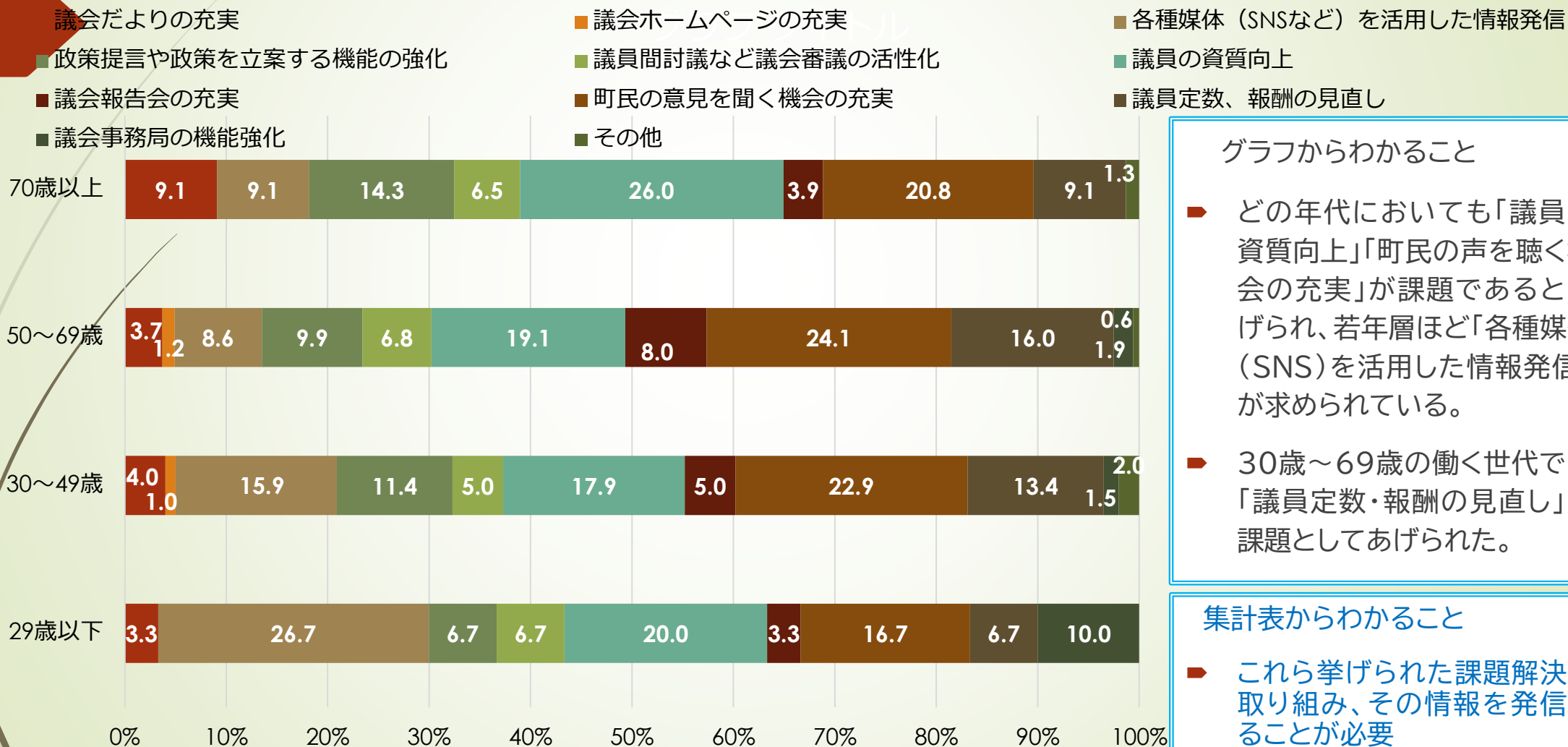
集計表からわかること

- ➡ 「町民の意見を聞く機会の充実」に少し差がみられるが、その他に性別による大きな差はない。
- ➡ 男女関係なく働きかけていくことが望ましいと考えられる。

Ⅱ. 町議会・議員についてお尋ねします。

クロス集計 年代×「議会改革の課題」

18/25



グラフからわかること

- どの年代においても「議員の資質向上」「町民の声を聴く機会の充実」が課題であるとあげられ、若年層ほど「各種媒体（SNS）を活用した情報発信」が求められている。
- 30歳～69歳の働く世代では、「議員定数・報酬の見直し」が課題としてあげられた。

集計表からわかること

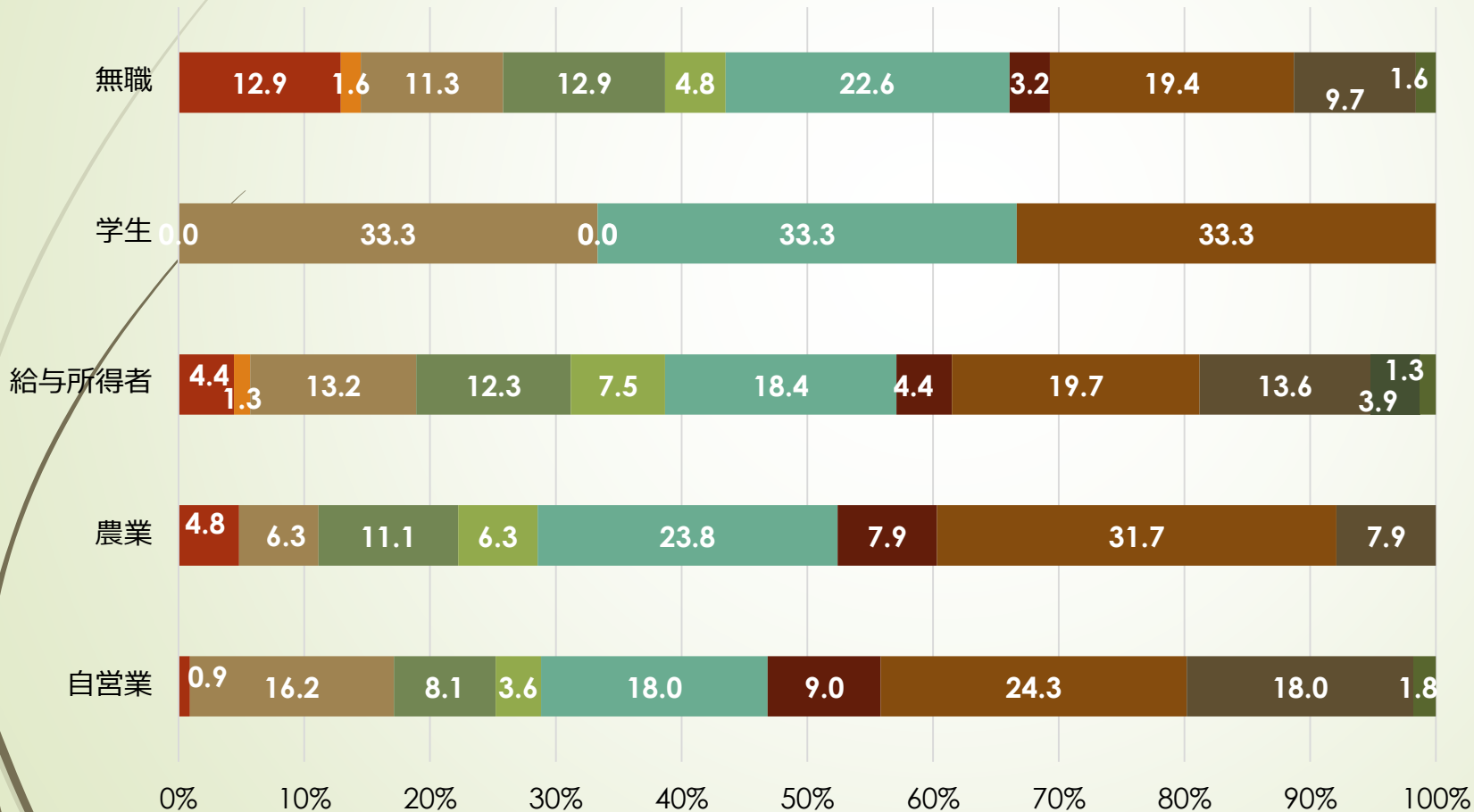
- これら挙げられた課題解決に取り組み、その情報を発信することが必要

Ⅱ. 町議会・議員についてお尋ねします。

クロス集計 職業×「議会改革の課題」

19/25

- 議会だよりの充実
- 議会ホームページの充実
- 各種媒体（SNSなど）を活用した情報発信
- 政策提言や政策を立案する機能の強化
- 議員間討議など議会審議の活性化
- 議員の資質向上
- 議会報告会の充実
- 町民の意見を聞く機会の充実
- 議員定数、報酬の見直し
- 議会事務局の機能強化
- その他



グラフからわかること

- ➡ どの職業でも「町民の意見を聞く機会の充実」「議員の資質の向上」「各種媒体(SNSなど)を活用した情報発信」が課題としてあげられた。
- ➡ 「政策提言や政策を立案する機能の強化」についても課題としてあげられた。

集計表からわかること

- ➡ 議会は町民とのコミュニケーションを大切にし、議員の資質向上に努めることが求められている。また、「政策を提言・立案する機能の強化」も重要な課題であり、町民のさまざまな意見を政策に反映させるための取り組みが必要。

高森町議会・議員に対する意識調査 総括

24/25

- ➡ ① **有権者の認識** (関連質問: 問2、問4)
- ➡ ② **満足度と不足感** (関連質問: 問5、問6)
- ➡ ③ **立候補環境の要素** (関連質問: 問7、問9)
- ➡ ④ **効果的な情報発信** (関連質問: 問1、問3)


声の重要性

各回答は有権者の貴重な声・指摘であり、今後の議員のなり手不足対策への第一歩

高森町議会・議員に対する意識調査 総括

25/25

- ◆ 「町民の意見を聞く機会の充実」
 - ◆ 「議員の資質の向上」
 - ◆ 「情報発信の拡充」
 - ◆ 「議員定数・議員の報酬の見直し」
- 今後は町民の皆さんからいただいたご意見を大切に、令和6年9月に制定した議会基本条例をもとに、課題解決に向けた取り組みを推進していきます。



意識調査への
ご協力ありがとうございました。